【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2007-86741(P2007-86741A)
【公開日】平成19年4月5日(2007.4.5)
【年通号数】公開・登録公報2007-013
【出願番号】特願2006-180865(P2006-180865)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　3/28　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　11/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/28　Ｈ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２４Ｍ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４１Ｅ
Ｈ０１Ｊ　11/02　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成21年6月24日(2009.6.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１２】
前記第２電極駆動部は、
第１サステインバイアス電圧を前記少なくとも一つの立下り信号が供給される全体区間の一部区間で前記第２電極に供給して、
前記第１サステインバイアス電圧の電圧大きさは、少なくとも一つのサブフィールドのアドレス期間に第２電極に供給される第２サステインバイアス電圧の電圧大きさより小さいことを特徴とする、請求項８記載のプラズマディスプレイ装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２３】
９０μm以上１５０μm 以下の間隔を形成するスキャン電極及びサステイン電極が形成されたプラズマディスプレイパネルと、
フレームのサブフィールドの内で少なくとも一つのサブフィールドで電圧が漸進的に増加する立上り信号以前に、アドレス期間に印加されるスキャン電圧大きさより大きい電圧大きさを持つ第１立下り信号を前記スキャン電極に供給するスキャン駆動部と、
前記第１立下り信号が供給されるうちに前記サステイン電極に前記第１立下り信号の極性と反対される極性を持つ第２信号を供給するサステイン駆動部と、
を含むプラズマディスプレイ装置。